

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農業	課題研究	2	2	食料環境科	必修

科目のねらい	それぞれ自分の進路希望や興味関心にあわせ、課題を設定し、その課題を解決する学習をおこなう。これにより、専門的な知識と技術の深化・総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に着ける。
使用教材など	それぞれのグループによる

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一学期	4 ～ 7	2 2	1. テーマ設定 ① 調査・実験・研究 ② 作品製作 ③ 産業現場における実習 2. 分野 ①水田環境整備に関する研究 ②動植物の保全に関する研究 ③地域環境の保全に関する研究 ④地域の伝統食材に関する研究 ⑤新商品開発に関する研究 ⑥微生物利用に関する研究	- 原則として、2、3年次に継続して同じグループ編成、同じテーマによる活動となる。 - 年度のまとめができるように、しっかりした年間計画を立てる。 - 教員からの指導による活動だけでなく、自分から考えて活動する。 - 調査方法についても、研究に必要なデータの種類や測定方法をあらかじめ予測される結論に応じて選ぶ。
二学期	8 ～ 12	2 6	3. 年間計画の立案 4. 活 動 ・ 校内プロジェクト発表（11月） ・ 全グループが発表する。	- 夏休み中も活動が途絶えることがないこと。自分でできることを考える。 - 全グループが校内発表を行う。
三学期	1 ～ 3	1 1	5. まとめ 学科発表会（1月） 研究集録集の作成（1月）	- 活動の内容、成果、課題を他の人がわかるようにまとめて発表する。 - 当初の目標に照らし合わせて自己評価をする。

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	・課題の解決に向けて仲間とともに努力しようとしている。	・地域の課題と今後の方向性について適切に判断・分析している。	・調査内容を適切にまとめて他人に理解してもらえるよう工夫している。	・蓄積されたデータから適切な考察に結びついている。
主たる 評価 方法	・行動の観察 ・ノートの点検	・行動の観察 ・ノートの点検	・プレゼンテーションの作成 ・発表力の評価	・行動の観察 ・ノートの点検

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評価にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

評価項目・学習にあたって・評価点		
①技能・態度 興味・関心	教員から指示されて活動するのではなく、自分から考えて活動することが大切である。調査方法についても、研究に必要なデータの種類や測定方法をあらかじめ予測される結論に応じて選定しておく必要がある。	20点
②ノート・観察記録	毎時間の記録をしっかりと記録し、後でまとめをし易いようにまとめましょう。	30点
③まとめ・発表態度	発表会に向けて、研究のまとめを仲間と協力してしっかり取り組む。また、積極的に堂々と発表会で発表することが大切です。	30点
④出席	毎時間参加し、意欲的に実験や実習に参加する姿勢が求められます。	20点